
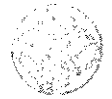







調 査 報 告 書

議 長		副 議 長		局 長		補 佐		係 長		係 員	
--------	---	-------------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---




調査期間： 平成29年7月4日（火）～平成29年7月6日（木）

2泊3日

視 察 先： 奈良県奈良市、奈良県生駒市、奈良県吹田市

会派名 公明党多賀城市議会
代表者名 根本朝榮 

- 用 務： 1) 奈良市
- ① 奈良の食プロジェクト事業について
 - ② ストップいじめ なら子どもサミット
 - ③ 奈良の観光の現状について
- 2) 現地調査（東大寺ミュージアム・平城京跡朱雀門）
- 3) 生駒市
- ① 地域子ども・子育て支援事業の取り組みについて
- 4) 吹田市
- ① 英語コミュニケーション体験事業について
 - ② 待機児童解消アクションプランについて

平成29年7月12日報告		報 告 代 表 者	根 本 朝 榮 
報 告 者	阿 部 正 幸 	齋 藤 裕 子 	

上記について調査しましたので、内容を下記のとおり報告します。

記

1 概要

(1) 奈良市の調査について

① 奈良の食プロジェクト事業

・奈良市の重点品目

【茶 大和茶発祥の地 奈良】

大和茶とは、奈良県の大和高原を中心に生産された茶のこと。



【日本酒 清酒発祥の地 奈良】

奈良市には「清酒発祥の地」として、世界に誇れる日本酒の歴史がある。

【いちご 奈良県生まれの古都華】

1月末にかけて糖度15度を超えることから、日本一甘いいちご。

- ・平成28年度事業 大和茶出張授業・古都華出張授業

【大和茶出張授業】

日本茶インストラクターの指導のもと、奈良の特産品・大和茶について学ぶとともに、急須を使って美味しいお茶のいれかたを体験し、お茶を楽しむ文化に触れる機会を設ける。

実施期間：10月から11月

対象：小学3年生、奈良市内小学校4校で実施

【古都華出張授業】

新しい奈良の特産品・古都華について、開発、味の特徴、生産に関するクイズを通して、楽しく学ぶ授業。

実施期間：1月から3月

対象：小学3、4年生、奈良市内小学校16校で実施

- ・平成28年度日本酒PR事業清酒発祥の地 奈良 SAKE TIME

事業目的：奈良の清酒とワインの歴史的価値を再発見するとともに、現代の奈良の食文化の魅力および多様性について講演会等を通して奈良の清酒を広くPRする。

事業内容：平成29年3月12日 ホテル日航奈良にて開催

② ストップいじめ なら子どもサミット

- ・奈良市立中学校の子どもたちによる自主的な活動
- ・奈良市いじめ問題中学生7000人アンケートの実施

事業のねらい

- ・奈良市立中学校の子どもたちによる、いじめをゆるさない学校づくりに向けた意見交流
- ・自らがいじめ問題に主体的に考え、未然防止に向けた取り組み
- ・地域や保護者と協働したいじめをゆるさない学校や地域づくり

日時：平成29年2月5日 13時から16時

会場：奈良市役所

内容：ワーキング会議の報告、アンケート調査の分析結果報告、子どもと大人によるパネルディスカッション、スローガンの発表

ならストップいじめ3ヶ条2017

- ・STOPいじめ！ STARTきずな！
- ・集団の色に染まるのではなく、自分の意志で動こう
- ・勇気、雰囲気、止める気 ～あなたは持っていますか？～

③ 奈良の観光の現状について

- ・観光入込客数

概ね1300万人、平城遷都1300年祭があったH22年は1800万人を超えた

- ・主な観光エリア
奈良公園エリア、平城宮跡エリア、ならまちエリア、西ノ京エリア
- ・観光案内所
奈良市内7ヶ所に設置
- ・古都奈良でしか味わえない魅力の提供
春日大社、東大寺、薬師寺、興福寺、平城宮跡
- ・外国人観光客の誘致
往來の日常化に向けた友好都市との交流、来訪者の多い台湾へのプロモーション、訪日客増加が期待されるインドネシアへのプロモーション、成熟市場である香港へのプロモーション、
- ・閑散期対策
なつの奈良旅キャンペーン、奈良大和路キャンペーン、珠光茶会、スポーツツーリズムの展開、
- ・今後の展開
修学旅行の誘致、観光案内所機能強化、QRコードによる観光案内板等の多言語化、観光プロモーションビデオ制作、インバウンド向けマップの作成、地域のブラッシュアップ
【奈良町における景観形成、奈良町にぎわいの家、地方創生加速化交付金事業、町家に対する補助制度の検証、東部地域の魅力創生】
- ・奈良市観光振興計画の策定
計画期間：平成28年度から平成32年度

(2) 現地調査

①東大寺ミュージアム

「東大寺の歴史と美術」をテーマに、奈良時代の聖武天皇による東大寺創建、平安時代の学問の多様化、平安時代末から鎌倉時代初期の戦乱を経た後の鎌倉復興室町時代から江戸時代にかけての再度の罹災と復興など、東大寺の歴史と各時代に生み出された寺宝を紹介

②朱雀門

平城京の正門。平城京の周囲は大きな築地塀で囲まれ、合計12の門があった。朱雀門の規模は間口25m、奥行き10m、高さ22m、二重の屋根で他の屋根で他の門より特に立派に建てられた。

(3) 生駒市の調査について

① 地域子ども、子育て支援事業のとりくみについて

【子育て支援総合センター】

子育て支援の核として、子育て支援事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポート事業、子育て短期支援事業、利用者支援事業を行う。

・地域子育て支援拠点事業

子育てさろん みつきランド

(0. 1. 2歳の子どもとその保護者が利用できる常設の遊び場)

・ひろば事業

びよびよサロン（生後4ヶ月までの乳児とその保護者を対象）

もぐもぐサロン（生後5、6ヶ月の乳児とその保護者を対象）

ももこサロン（生後7～12ヶ月までの乳児とその保護者を対象）

ゆうゆうひろば（0歳児、1歳児、2歳児以上）

年齢にあった手遊びや親子で体を使った遊びを楽しむ

えほんのひろば（0歳から3歳とその保護者）

図書館司書による絵本の読み聞かせや手遊び

サンデーひろば（就学前のお子さんとその保護者）

パパひろば（平成29年度事業、0歳から2歳の子ども一人とパパ対象）

・ファミリーサポート

「子育ての手助けをしてほしい」という市民（依頼会員）と「子育てのお手伝いをしたい」という市民（援助会員）が会員となり、その会員をアドバイザーがコーディネートし、お互い助け合いながら一時的、補助的に有償で子育て支援をする活動

（4）吹田市の調査

① 英語コミュニケーション体験事業について

目的：グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力を育成し、吹田から世界へ繋がっていけるよう「英語で話せる吹田っ子」を目指す。

特色：小中一環教育校千里みらい夢学園では、教育課程特例校の指定を受け、平成23年から小学1年生からの英語活動を実施してきた。

平成26年度からは実施校を拡充し、全ての小学校で実施。また平成25年度から小学3、4年生を対象に、子どもたちが英語だけの世界を楽しむ体験活動「すいたえいごKids」を実施。

課題：教員の指導力の向上、英語指導助手の活用、ICT機器の充実と活用等が今後の課題

② 待機児童解消アクションプランについて

今後3年間に実施する主な保育所整備等の施策を待機児童解消アクションプランとしてまとめ、約2150人分を確保し、保育の質を低下させることなく、待機児童の解消を目指す。

・平成27年度から28年度までの取り組み

保育の受け皿の拡大、認定こども園移行促進、保育人材確保

・保育士の確保策（保育士の負担軽減を含む）

処遇改善等加算の活用（国）

業務効率化推進事業補助金の活用（国）

保育体制強化費（保育支援者）の活用（国）

発達支援保育対策費（介護保育士）の活用（市）

保育特別対策費（フリー保育士）の活用（市）

ハローワークとのタイアップで保育士の就労斡旋（市）

・平成29年保育所待機児童数

124人

2 所感

(1) 奈良市について

- ① 「奈良の食プロジェクト事業」で大和茶及び古都華【いちご】の小学校出張授業の取り組みは、お茶を楽しむ文化に触れる機会と地域の食、生産の現場を身近に感じることが出来て良いと思う。また、古都華PR事業では、スタンプラリーやいちご狩りイベント等の取り組みで、消費拡大と古都華農家の収益向上につなげることを目的で実施している。

本市においても「しろのむらさき」ブランド化に向けた取り組みをしているので、消費拡大と生産農家の収益向上について参考になった。

- ② 「ストップ いじめなら子どもサミット」は、市内中学校の子どもたちによる自主的な活動で、いじめ問題中学生7000人アンケート調査を実施し、いじめに特化した子どもサミットは、奈良県初の取り組みで全国的にもめずらしい実践。本市においてもいじめ問題を中学生が自主的に取り組めるように、このようなサミットを開催出来ると良いと感じた。

- ③ 奈良の観光の現状について

奈良市の宿泊客数は、概ね全体の10%~15%で推移しており、観光案内所の体制も充実している。公衆トイレが少ない地区においては、観光客が気軽に利用できるトイレを増やすため、民間施設のトイレを開放してもらう取り組みを実施している。本市においては、今後外郭南門復元計画もあり、交流人口増加に向けた観光PRや観光客の受け入れ体制を検討していく時期である。

(2) 現地調査について

- ① 本市で開催する東大寺展を前に「東大寺ミュージアム」を視察し、彫刻・工芸・古文書等が展示され、これらは国宝や重要文化財に指定され、国民の貴重な文化資産である。

さらに度々の罹災から復興に向けた取り組みも紹介されており、本市で東大寺展を開催することは大きな意義あることを認識した。

- ② 「朱雀門」は、奈良時代前期の建築なので、様式を同年代の薬師寺東塔を参考にしており、素晴らしい建物になっている。本市の外郭南門復元に向けた事業を検討しているが、歴史的観光資源として必要な建物だと思った。

(3) 生駒市について

- ① 地域子ども・子育て支援事業の取り組みについて

子育て支援総合センターでは、子育て支援の核として、子育て支援事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポート事業、子育て短期支援事業、利用者支援事業など、様々な子育て支援をしている。

赤ちゃんの駅取り組みは、授乳やおむつ替えのできる施設を登録し広く公表することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境の整備を図り、地域で子育てを支えるまちづくりを推進。

公共施設：38施設、民間施設：16施設

子育て支援が充実している本市でも参考になる取り組みも多くあり、さらに子育ての充実につながるよう推進していきたい。

(4) 吹田市について

- ① 英語コミュニケーション体験事業について

平成29年度から吹田市内全ての小学校が文部科学省指定の教育課程特例校となり、1年生から外国語活動を行っている。英語マスター事業では、小学6年生を対象にエキスポシティ内にある施設で、英語のみでのやりとりを通して、授業で学んだ英語の表現方法やコミュニケーションのとり方を体験し、「相手に伝わった」「相手の思いが理解できた」という満足感や達成感を体得することで、学習意欲の向上と中学校での英語学習への動機づけを図る目的で実施している。この事業を取り組んだ36校、3302人のアンケート結果は、楽しかった95%、学校で学んだ英語を使うことが出来た75%、英語をもっと話せるようになりたい84%となっている。

本市でもこのような事業が取り組めると良いと思う。

② 待機児童解消アクションプランについて

待機児童解消アクションプランを速やかに実現させるため、専門的知識を有する職員によるワーキングチーム（WT）を立ち上げ、全庁を挙げた取り組みをしている。緊急に実施する方策【平成28年10月までに】、短期的な方策【平成29年4月までに】、中期的な方策【平成31年4月までに】の3つの方策を掲げ、待機児童解消に向けた取り組みをして成果を出している。本市の待機児童解消に向けた推進をしてまいりたい。

議長		副議長		局長		補佐		係長		係員		
----	---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	---

平成 3 0 年 2 月 1 3 日

多賀城市議会議長 殿

会 派 名 公明党多賀城市議団









代表者名 根本朝榮



調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。
記

1 報告者（参加者）

(1) 代表 根本朝榮		(5)	
(2) 阿部正幸		(6)	
(3) 齋藤裕子		(7)	
(4)		(8)	

2 調査研究の概要

調査期間：平成30年1月24日（水）～平成30年1月26日（金）

調査目的：介護福祉、教育、環境についての先進地調査

調査手法：視察調査

行 程：添付行程表のとおり

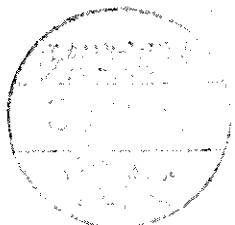
調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
24日（水） 14:00～16:00	広島県広島市	介護予防・日常生活支援総合事業について
25日（木） 10:00～12:00	広島県府中町	学習プログラム（親プロ）について 家庭教育支援の取り組みについて
26日（金） 10:00～12:00	広島県福山市	エコキャンペーン事業について

調査資料：添付調査先作成資料のとおり

3 調査の概要

別紙添付のとおり



《1月26日(金)》

(9:45 頃発) (9:48 頃着)
宿泊地 ————— 福山市役所
徒歩3分

10:00~12:00

【行政視察】福山市役所
視察項目・エコでえ〜ことHappy!キャンペーンについて

福山市議会事務局 ご担当: カイハラ 様

電話084-928-1136

(12:10 発) (13:30 着) (13:40 発) (14:45 着) (14:46 発) (14:49 着) (19:40 発) (21:00 着) (21:20 発) (21:25 着) (21:32 発)
福山市役所 ————— 福山駅前 ————— 広島空港 ————— 広島空港 ————— 仙台空港 ————— 仙台空港駅 —————
徒歩(昼食) リムジンバス 徒歩3分 IBEX I7517 40便 徒歩5分 仙台空港777線
広島空港行 仙台空港行 仙台行

(21:57 着) (22:18 発) (22:39 着)
仙台駅 ————— 多賀城駅
JR仙石線
東塩釜行

●広島市の調査について

1月24日 14:00～16:00 訪問

「介護予防日常生活支援総合事業について」説明を受けました。

【広島市の現状】

急速な少子高齢化と人口減少：2025年に75歳以上の人口は、1.5倍「肩車型社会」へ
家族形態の変化：共働き世帯の一般化、単身世帯の増加

一人暮らしの高齢者（65歳以上）、大幅増加

健康上の課題を抱える高齢者：平均寿命男性79.93歳、女性86.86歳全国平均より長く
健康寿命男性69.96歳、女性72.19歳全国平均より短い

地域コミュニティの希薄化：町内会・自治会加入率61%（2015）

毎年1%程度ずつ低下

ポイント：高齢化率は、平成27年度から10年後の推移は、23.4%～26.6%

75歳以上の高齢者の割合は1.5倍に。要支援・要介護認定者率は、1.25倍
平均介護保険料月額は、1.6倍と推計。

以上の現状を基に地域包括ケアシステムの構築を推進。

*介護予防・日常生活支援総合事業は、平成29年4月より開始。

「世界に誇れる『まち』広島」の実現を目指して、①エリアマネジメント②支えあい
③世代等を超えた分かち合いの、3つの視点の下地域福祉の再構築を目指す。

従来の「公助」はもとより、「自助」「共助」を厚くして可能な限り住み慣れた住まい・
地域で生活できる環境づくりを重点におかれた。

概ね30分以内に必要なサービスが、提供される日常生活圏域（具体的には中学校区）
を単位として想定。

構築実現に向けて、以下の5点をポイントとする。

① 介護予防・健康づくり

② 日常生活支援

③ 介護人材の確保

④ 在宅医療・介護等の連携

⑤ 認知症高齢者の対応

※これらは「地域住民も主体となった地域づくり」「多職種連携」が鍵となることから、『介護予防・日常生活支援総合事業』等の取り組みが重要となる。

総合事業で実施する各種サービス

○介護予防・日常生活支援サービス事業

① 訪問型サービス：生活援助特化型サービス（基準緩和型）、住民主体型生活支援訪問サービス、専門職による短期集中予防支援訪問サービスを新設し、効果的に機能回復を図る。

② 通所型サービス：心身機能、認知機能の状態に応じて生活支援を含めて提供する。

「1日型デイサービス」と、機能訓練等を中心とした、「短時間型デイサービス」、専門職による「短期集中運動型サービス・通所口腔ケアサービス」のいずれかを利

- 用し、機能が改善した場合は可能な限り地域の介護予防拠点等への利用に移行する。
- ③ 介護予防ケアマネジメント：総合事業サービスにあたり、地域包括支援センターが、要支援者等に対するアセスメントを行い、その状況に応じてケアプランを作成する。

○一般介護予防事業（65歳以上すべての高齢者対象）

- ・介護予防拠点整備促進事業・地域高齢者交流サロン運営事業・認知症カフェ運営事業。
- ・地域リハビリテーション活動支援事業・介護予防活動等普及啓発事業
- ・高齢者いきいき活動ポイント事業。

以上、地域の実情に応じて取り組む事業内容で、地域団体やNPO、市民ボランティアなどの多様な主体による、多様なサービスを提供しています。

●府中町の調査について

1月25日10:00～12:00訪問。

「親の力」をまなびあう学習プログラム（親プロ）について、家庭教育支援の取組みについて説明を受けました。

府中町は、広島県の南西部に位置しており、古代から中世にかけて安芸の国の国府が置かれていたと言われている。古くから地域の経済文化の中心として栄えられた。現在は、広島市に周りを囲まれ安芸郡の都市という全国的に見ても特徴のある形態をしている。府中町は、広島市の中心部に近いなど、利便性が高いことなどから昭和30年代から急速に住宅化が進み、人口が急増し、面積は10.41km²と狭小ではあるが、平成30年1月1日現在、52,081人、人口密度は全国的にトップクラス。府中町の産業は、町内には大手自動車メーカーのマツダ本社があり、関連会社が多くある。かつてはキリンビール広島工場があった工場が閉鎖され、跡地にはイオンモール広島府中ができ、新たな賑わいとなっている。府中町は、比較的若い人が多く、転勤等での転出入が多い町である。

【教育施設】は11施設、保育園が6園、幼稚園5園、認定子ども園1園、児童センターが2館ある。小学校は5校、児童数は2,829人、中学校は2校で生徒数が1,211人、公立の高等学校が1校、公民館2館、歴史民族資料館、生涯学習センターがある。

平成29年度の府中町教育委員会【基本方針】について、第4次総合計画に「人がきらめきまちが輝くオアシス都市安芸府中」とし、教育委員会では「あいさつ、感謝、志」をキーワードとした社会総ぐるみの人材育成を基本理念としている。社会教育では、学びあい生きがいを育む社会教育の充実を基本目標として、家庭教育の支援、青少年の健全育成を重点的に施策として取り組んでいる。

家庭教育支援の重点的な、2点の取り組みについて。

1. 『家庭教育のあり方』の普及啓発

平成20年8月に、社会教育委員会議での提言をまとめ、『家庭教育のあり方』として、全戸配布した。生活習慣をはじめとする、子供に伝えるべき基本的な事項をわかり易くまとめ、様々な機会において普及啓発に活用している。

2. 家庭教育支援チーム「くすのき」による親の学び支援事業

組織：コーディネーター5名（教育委員、主任児童委員、社会教育委員、公民館運営委員元教員）。ファシリテーター137名

活動内容：親の力を学び合う学習プログラム（親プロ）を活用した出前講座。ファシリテーター養成講座、不登校の児童生徒の親の支援、子育て相談託児サービス、研修会。

特徴：子育てや、困ったことなどを参加者が話し合い、お互いの悩みに共感しながら、親プロ教材を活用した、参加者が主体者の講座。進行役はファシリテーターが担う。

開催：小中高校、保育園、サークル、児童館、公民館など

受講者の満足度9割と向上。不安軽減の実績。

予算：企業の助成金、各種助成金、イオングループイエローレシートキャンペーン登録（コーディネーター、ファシリテーターは無償ボランティア）

今後の課題：本当に支援の必要な人に支援が届く方策。ホームページ、SNS活用周知、切れ目のない支援の充実、他部局との連携、何かあったら、くすのきに相談しようと思ってもらえるようになる取り組みの実績をつくる。

●福山市の調査について

1月26日（金）10:00～12:00 広島県福山市を訪問。

「エコでえ～こと Happy！キャンペーン」について説明を受ける。

福山市は、バラを市の花として制定している。市政施行100周年に合わせ市内のバラの栽培を進められ、100万本のバラが栽培されている。観光の分野では、バラをテーマに掲げられ、バラ祭りを毎年開催し約80万人の人出で賑わいを見せている。その他にも瀬戸内海で一番早い花火大会も開かれて、風光明媚なところだ。

「エコでえ～こと Happy！キャンペーンについて」

エコでえ～事実行委員会が、認定する環境にやさしい取り組みを行うことで、「応募券」もしくは、「エコシール」が発行され、応募して、商品が当たるという取り組みです。楽しみながら、エコ活動に取り組む事業を推進する。参加協力店を選定し協議、協賛店を訪問し募り、宣伝広報活動で市以外の方にも周知。

*これまでの経緯

平成18年当時に、レジ袋の問題が着目されていた。福山市では、マイバック持参運動として少しでもレジ袋削減の運動を展開してはどうかということになり、市内の事業者、各種団体の方に集まってもらい議論を重ねられた。その当時、マイバック、マイ箸入れなどを作りマイバック持参運動などを展開。

平成19年度から、エコでえ～こと実行委員会を立ち上げられ実際のキャンペーン運動をはじめられた。平成24年度まで展開されてきたが、マイバック運動を、主にしながらも、マイ箸を外食に行くときに持って行こうという持参運動であったり、家庭での前年の電気使用料と比べて見るなどの、家庭での省エネ診断などを取り入れたり、循環バス利用での余分な温室効果ガス排出を、どう抑えるかなど、少しでもエコについて、考えるきっかけ作りにして頂こう、という内容も取り入れながら、対象品目も増やし、事業を展開してきた。

分岐点が平成 25 年、「ふくやまエコトライアスロン」に名称を変更し、事業を引き継いでいる。対象の品目として、紙ごみお拠点回収、節電、環境家計簿の作成、緑のカーテン、環境出前講座や物作りをする体験講座へ参加をして、ポイントがもらえるという「エコトライアスロン」として展開。

平成 29 年度から、エコでえ〜こと Happy! キャンペーンに切り替えられ現在も展開されている。対象として、使用済みの小型家電回収、食品ロスの削減展開では 30 店舗の食べ放題のお店に限定し行なわれている。調べによると、高級料理店においては、食品ロスがほとんどなく、安価でたくさん食べられるお店については、たくさんの食品ロスが出ているという傾向が見られている。市内の食べ放題店に協力を依頼して、事業の展開をされている。新たな試みとしては、リユースマート（リサイクルショップ）利用で、物を大切に作る、廃棄をしない、使えるものは誰かに使っていただくという精神の基で、事業者も巻き込んでの事業展開をして、現在に至っている。

参画企業への周知、参加協力企業、協賛企業を増やしていくことが今後の課題。

* 「リサイクルプラザ」を視察。

主な業務内容：ごみ分別などの啓発、循環型社会、低酸素社会、自然共生社会、など環境についての学習（館内にスペースが設置）、福山市次世代エネルギーパークの紹介、ごみ処理施設の見学、小中学校、地域での出前講座、環境に関する情報発信、イベントの開催など行われている。

館内：研修室、会議室、リサイクル体験コーナー（体験講座開催）、展示コーナー、再生家具の販売スペース、学びの空間が随所にある。

館外：ハイブリット風力発電、太陽光発電、体験学習設備（遊具）の広場どなたでも来館出来る内容のある施設。

4 所感

★広島市について

広島市独自の取り組みの内容が、各種サービス事業に盛り込まれていました。新たな制度である為、事業の内容や、市民の皆さんの相談の内容も、分かり易くパンフレット等で具体的な利用例も示して、作成されておりました。広報誌や、ホームページ等使い、啓発活動にも力を入れ、事業者間との説明や連携を図られておりました。

介護支援を必要としない高齢者の方々に対しての啓発や、動機づけの取り組みとして、高齢者いきいき活動ポイント事業が取り入れられていました。

ボランティア活動、健診受診や、健康づくり、介護予防に取り組むと、年間獲得ポイント数（奨励金）が頂ける取り組みや、ご当地球団タイアップ企画で、“頑張れひろしまカープ・いきいき百歳体操” DVDを作成し推進するなど、健康づくりの取り組みについては、とても参考になりました。

また、住民主体型生活支援訪問サービスでは、草むしり、掃除、洗濯、調理、買い物、ごみ捨てなどの有償ボランティアの範囲内でのサービス事業や、地域高齢者交流サロン、認知症カフェの開催団体、地域住民や、ボランティアなどによる取り組みに補助をおこなっており、実施団体の募集説明会も具体的に行われます。

サロンや、認知症カフェの場所は空き家を利用されるなど工夫をさして、1箇所当たりの補助金も上限で決められています。

新しい認知症カフェの試みとして、若年性認知症向けのカフェの取り組みもとても参考となりました。

今回感じたことは、できる限り自立した生活を送ることが幸せなことだと理解することからだと思います。そして、関係者が、意識や、方向性を共有しご本人とご家族が自立支援に向けて課題や、目標を一緒に考え、支えていくことだと思います。

そのうえで、介護予防に対する意欲を引き出す施策や、元気な高齢者をできるだけ増やす、自立を応援するマネジメントを行っていくことが大事であると思います。また、それが、難しくなった高齢者を支え、安心して暮らせるまちを築いていくことが大切だと感じました。

★府中町について

結婚、出産、育児と、今、本当に切れ目のない支援が大事と実感する中で、どこに重点を置くかというところに、試行錯誤をそれぞれの自治体がされていることを感じました。

その中でも、教育は、やはり欠かすことが出来ない、大事なことです。府中町では、そのなかでも、家庭教育支援、親の支援、親の学びに力を入れているところが素晴らしいと思いました。

親が学び、親が元気に、親の悩みが解消され、また、他者への励ましにつながる取り組みになるので、有効な支援だと感心しました。

「くすのき」のネーミングの由来も、町の木から付けられ、皆さんから親しみやすくされていました。文科省に登録して、ロゴマークも作られ、周知にもつながる意気込みを感じました。

家庭教育を進めるためのPTAとの連携、各部局との連携に心がけられており、資金面に関しては、くすのきの活動の実績が、マツダ財団助成金につながった事や、イオンのイエローシートキャンペーン取り組みの、熱意が感じられました。

また、「カフェくすのき」として、不登校や、悩みを抱える小中高生、又その保護者の為の居場所づくりの取り組みもとても感銘を受けました。

親プロ講座の特徴は、あらゆるニーズを考え、プログラム教材も取り入れているところや、また、一方的な内容ではなく、参加者が主体者であることが素晴らしいと思いました。

参加してほしい方が参加できるような課題への工夫や、コーディネーター、ファシリテーターの人材育成を更に進めるなど、将来は、小学校区の地域単位での取り組みに意欲を語られていました。何よりも担当の方々の生き生きとした姿がとても印象的でした。

★福山市について

環境配慮行動促進事業として、これまで取り組まれてきた経過をお聞きして、本当にご苦労にご苦労をかさねながら、推進をされて来たことを感じました。本市でもごみの減量、環境問題は、大きな課題です。

食品ロスにしても、あらゆる分野に役立つ資源ゴミ、再生利用可能な、小型家電、

使えるものをリサイクルすることなどは、市民の皆さんの意識向上が大きなカギとなります。そこをいかに周知して、取り組むかは、地域の状況によって工夫が大事だと思いました。








その取り組みに情熱を持って、努力を重ねてこられてこられたことに感銘を受けました。

エコポイントキャンペーンも皆さんが、楽しみながらでき、話題性、周知徹底され、企業、店舗など皆さんの意識向上につながっていると思いました。

また、リサイクルに関しては、家具の引き取りなど行う中で、ニーズに合った取り組みに転換し、子育てニーズに合わせたリサイクルネウボラ版として、子育て応援グッズに特化した、家具や、用具の貸し出しを進めるなど、よく研究されていると思いました。

また、エコプラザはお子様連れの家族が、多く御来場されていることから、将来の世代につながる、いい学びの場所となっています。リサイクル体験講座も、多岐にわたって開催され、高齢者の方まで幅広い方々に利用されていることがとても素晴らしい取り組みだと思いました。

今回の視察研究で学んだ事を、本市でも参考に取り入れていけるように、更に、勉強を重ねてまいります。

議 長		副 議 長		局 長		補 佐		係 長		係 員		
--------	---	-------------	--	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	---

平成30年2月5日

多賀城市議会議長 殿

会派名 公明党多賀城市議団

代表者名 根本朝榮











研修等報告書

このことについて、下記のとおり研修を実施したので、概要を報告します。

記

1 研修者名 (参加者)

- | | | | |
|-----------|--|-----|--|
| (1) 齋藤裕子 |  | (5) |  |
| (2) ----- |  | (6) |  |
| (3) ----- |  | (7) |  |
| (4) ----- |  | (8) |  |

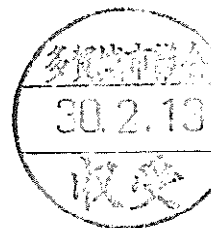
2 研修の概要

- 研修期間：平成30年2月1日 (木)
- 研修会等名称：「マーケティング視点を活かした政策の発信について」
- 研修主催者：地方議員研究会
- 研修場所：東京都中央区京橋1-7-1
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
- 研修の概要及び参加費用：添付資料 (募集要項等) のとおり
- 行程：添付行程表のとおり

3 研修会の概要

「これからの自治体議員のための基礎講座」
 マーケティング視点を活かした政策の発信について。
 講師・大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授 永田潤子

1. 捨てられない議会報告チラシ作成のコツ
 読むのが面倒な紙切れになってはいないか？
 読まない・信じない・行動しない。
 どうしたら、見てもらえるか、読んでもらえるか、認知してもらえるか、共感してもらえるか。などのポイントについて。
 政策をどう発信していくか：市民の皆さんの意見、要望をしっかりと聞く、把握するこ



と。コミュニケーションを取る。コミュニケーション取り方。情報提供をしていく。意見聴取。

2. 理解と共感のコミュニケーションを上手に使う

相手に伝わること。

① 理解のコミュニケーション

話の筋道を明快に伝える。構造をわかり易く伝える。暗黙知を直感的に伝える(比喩)。視覚的に伝える(図解)。言外のニュアンスを伝える(非言語メッセージ)

② 共感のコミュニケーション

相手を受け止め承認する(傾聴)。親和的な雰囲気をつくる(報告会など)。相手を承認し、相互理解を深める。自分で考えさせて意見を引き出す(質問)。相手を攻撃せずに考えを伝える

3. 男性脳、女性脳の、(傾向性)を知り活動の視野を広げる

あらゆる角度からの視点で、男性視点、女性視点を活かした話題、考え方、アイデアから、質問や、政策、発信していく。

*話すスキル

まずは、結論から一見出しを先に述べー共通認識のベースを踏まえー相手の納得しやすいペースでー理論や正論の並び立てではなく、自分の思いや考えを語るー興味深く語る

4. 頻度×強度×継続度の効果

発信、身に付ける、受け入れてもらう、政策、認知、課題解決につながる。

どのくらいの時間で、どこで、どのようにという事が大事。

その他、人間の視野や、感心について。より効果的な質問につながるコツ、マーケティングの基本についてなど、講義の内容でした。

4 所感

今回の研修会は、議員と行政と市民との関わりの中での、議員の姿勢、アプローチの仕方、研究心が大事である。

いかに相手の立場や、現状を知り、要望から課題を見つけ、問題提起をして、そこから解決につなげることが、大事であると再認識ができました。

マーケティング視点を活かした観点により、自身の発信力の向上につなげるノウハウを学びました。

そこで、重要と感じた三つのポイントがありました。

1. マーケティング視点から「注意・興味・関心・検索・比較・検討・行動・情報共有」このプロセスを基本において考え、進める。
2. 共感のコミュニケーションとして、認識・経験・解釈・行動・理解等に対する問いかけ。相手の話を聞く、気持を引き出すこと。
3. 観察力：相手の表情、声のトーン、姿勢など総合的に観察する。気持ちは判って実行する。

まとめ

研究心がとても重要と感じました。原因があり、現状から、課題として懸案そのためには、徹底して、細かく調べる事が必要である。

自分を商品に例えると？1本の柱があるか。それは何か？ということも、自身に問いかけ、確認できました。

より良いまち構築のため、市民生活の向上につながる議会質問をできるように、議員力アップ、発信力、行動力を磨いて参ります。

平成30年 地方議員研究会研修会(2/1) 行程表

《2月1日(木)》

(7:15発) (7:35着)(7:52発) (9:23着)(9:30発) 徒歩 (9:35着)
多賀城駅 —— 仙台駅 —— 東京駅 —— TKP 東京駅八重州カンファレンスセンター

(13:00発) 徒歩 (13:10着)(14:20発) (15:52着)(16:09発) (16:30着)
TKP 東京駅八重州カンファレンスセンター —— 東京駅 —— 仙台駅 —— 多賀城駅

【研修】①マーケティング視点を活かした政策の発信について
(10:00~12:30)
講師 永田潤子

議長		副議長		局長		補佐		係長		係員	 
----	---	-----	---	----	---	----	--	----	---	----	---

平成30年2月6日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 公明党多賀城市市議団

代表者名 根本朝栄









研修等報告書

このことについて、下記のとおり参加したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- (1) 阿部正幸  (4) 
- (2)  (5) 
- (3)  (6) 

2 参加した研修会等の概要

- 研修期間：平成30年2月2日（金）日帰り
- 研修会等名称：事業の必要性、外部委託の判断基準
- 研修主催者：地方議員研究会
- 研修場所：東京都中央区京橋1-7-1
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
- 研修概要（講師、日程、内容等）：添付主催者資料のとおり

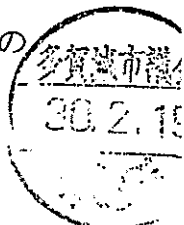
3 研修の概要

公共サービスの外部委託化

- ①業務委託 ②包括的民間委託 ③一括的民間委託 ④指定管理制度
- ⑤PFI ⑥市場化テスト

事業仕分け

現在の事業を不要、必要に区分した上で、必要事業について国、県、市町、民間と仕分ける。さらに新しい「公共」による地域経営を目指すために、市町もしくは民間に仕分けた事業について、地域団体、NPO、民間企業のどの主体が担うことが望ましいかを検討する。



公民連携の成功には

- ①役割とその成果の明示 ②官と民の責任分担の明確化
- ③発注時の契約内容の改善 ④モニタリングの仕組み ⑤創意工夫のインセンティブが働く仕組み

事例

武雄市図書館 CCCによる指定管理（平成25年4月リニューアルオープン）
目指す図書館像・・・豊かな生活を実現するための中核的施設として、市民
価値の高い施設として図書館を運営していく。

経費縮減・・・運営費約1.2億 → 1.1億

利用者数の増加、利用者層の広がり

指定管理者制度を導入して来館者数の増加

H23年（指定管理者制度導入前） 25万人

H25年 92万人 H26年 80万人 H27年 72万人

予想外の効果

- ①市の知名度向上 ②市への視察増加 ③観光への効果

4 所感（今後の市政に資する点）

指定管理者制度を導入した場合、丸投げではなく、民間のノウハウ等が
効果的に成果を出しているかを、定期的に確認していく必要がある。

本市においても、図書館や文化センター等が指定管理者制度を導入している
ので、運営状況や事業内容等を把握して、成果が出るように推進していきたい。

樋渡 啓祐氏 特別講座

in東京

講師 樋渡 啓祐氏 (元佐賀県武雄市長・樋渡社中 Founder & CEO)

1月29日(月)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 防災対策特別講座	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 子どもの貧困対策特別講座
1月30日(火)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 教育改革特別講座	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 空き家対策特別講座

あなたの質問を画期的に変える質問力アップ集中4講座

in博多

講師 宮本 正一氏 (医学博士、MBA、元復興川市議会議員、日本公共経営研究所代表)

1月29日(月)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 質問準備のその前に ~あなたの街の議会のルールは正しいのか?~	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 質問準備の効果的な方法
1月30日(火)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 議会や委員会での質疑やりとり向上研修	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 質問のその後 ~本来の議員活動のために質問を有効に使う~

復興・防災特別講座

in東京

講師 久保田 崇氏 (立命館大学教授/元 陸前高田市副市長)

1月31日(水)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 陸前高田市における復興の現状と課題	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 教訓を活かした防災まちづくり
----------	-----------------	--	-----------------	---

3期目までの議員が2日でわかる 財政集中研修

in博多

講師 川本 達志氏 (元廿日市市副市長)

1月31日(水)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> あなたの街の自治体財政「見える化」研修1	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> あなたの街の自治体財政「見える化」研修2
2月1日(木)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 議員の基本「財政比較分析の仕方」1	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 議員の基本「財政比較分析の仕方」2

これからの自治体議員のための基礎講座シリーズ

in東京

講師 永田 潤子氏 (大阪市立大学大学院創造都市研究科 准教授)

2月1日(木)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> マーケティング視点を活かした政策の発信	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 質問作成スキルアップ
2月2日(金)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 健康や環境から始めるまちづくり	14:00~ 16:30	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の必要性、外部委託の判断基準

元大阪市公募区長、元岩手県職員が教える 鋭い質問のポイント

in博多

講師 小川 明彦氏 (元大阪市旭区長、元岩手県職員)

2月2日(金)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント
---------	-----------------	---	-----------------	--

予算議会前におさえておくポイント

in大阪

講師 森 裕之氏 (立命館大学政策科学部 教授、博士)

2月5日(月)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 予算議会前におさえておきたいポイント1	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 予算議会前におさえておきたいポイント2
2月6日(火)	10:00~ 12:30	<input type="checkbox"/> 子どもの貧困について	14:00~ 16:30	<input type="checkbox"/> 公共施設の再編問題